
2020年7月期 決算説明会

包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード：6267

目次

- I. 事業概況と事業環境**
- II. 2020年7月期決算の概況**
- III. 第5次中期経営計画の総括**
- IV. 第6次中期経営計画ならびに
2021年7月期業績見通し**

I. 事業概況と事業環境

II. 決算概況

III. 第5次中期経営計画（総括）

IV. 第6次中期経営計画ならびに

2021年7月期業績見通し

【セグメント別】事業概要

包装機械

主要品目 包装機から包装システムまで

・袋詰用包装機

給袋自動包装機
(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



・包装関連機器等

生産機械

主要品目 機器からプラントまで

・製菓機械

チョコレート製造機械



オサ機械 2016/9月子会社化
(7月決算)

2016/3月設立

ゼネラルパッカー
(7月決算)

蘇州日技通用包装机械 (中国)

※12月決算
連結決算対象 : 7月-6月
連結上必要な調整を行っています。

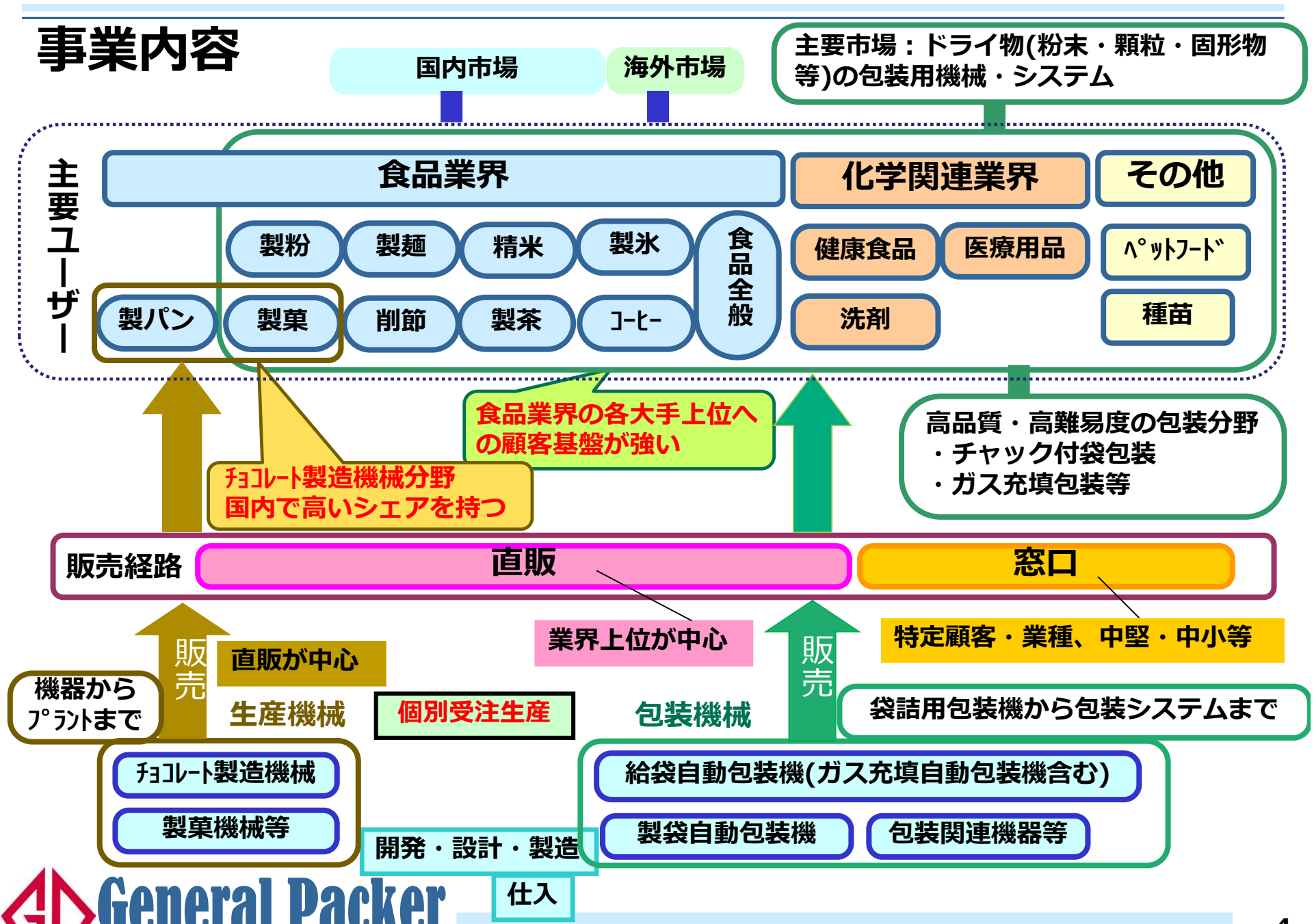
↑ 味の素应用システムの仕入

その他関係会社 ; FAMS (安川電機子会社)



<事業内容>
野菜自動生産システム、食品自動化装置

事業内容



事業環境 – 対象市場の動向 –

包装機械

単位:億円

機種別	生産高
個装・内装機械	3,955
包装用計量機	280
充てん機	530
びん詰機械	719
製袋充てん機	735
真空包装機	100
その他	1,591
外装・荷造機械	692
ケース詰機	216
その他	476
合計	4,648

需要先別構成比

- ・食品部門 52.1%
- ・化学部門 15.1%
- ・その他 20.8%
- ・輸出 12.0%

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

前年度比
4.3%増

日本包装機械工業会

「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高
統計資料」

2018年度実績

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)

- ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
※ナブテスコ連結子会社
- ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

生産機械

単位:億円

機種別	販売額
精米麦機械	146
製粉機器	124
製めん機械	103
製パン・製菓機械	1,358
醸造用機械	159
乳製品加工機	644
飲料加工機械	237
肉類加工機械	261
水産加工機械	171
その他食品機械	2,506
合計	5,706

・輸出 7.2%

製菓機械

オサ機械(子会社)
の区分

前年比
▲1.9%

日本食品機械工業会

「食品機械調査統計資料」

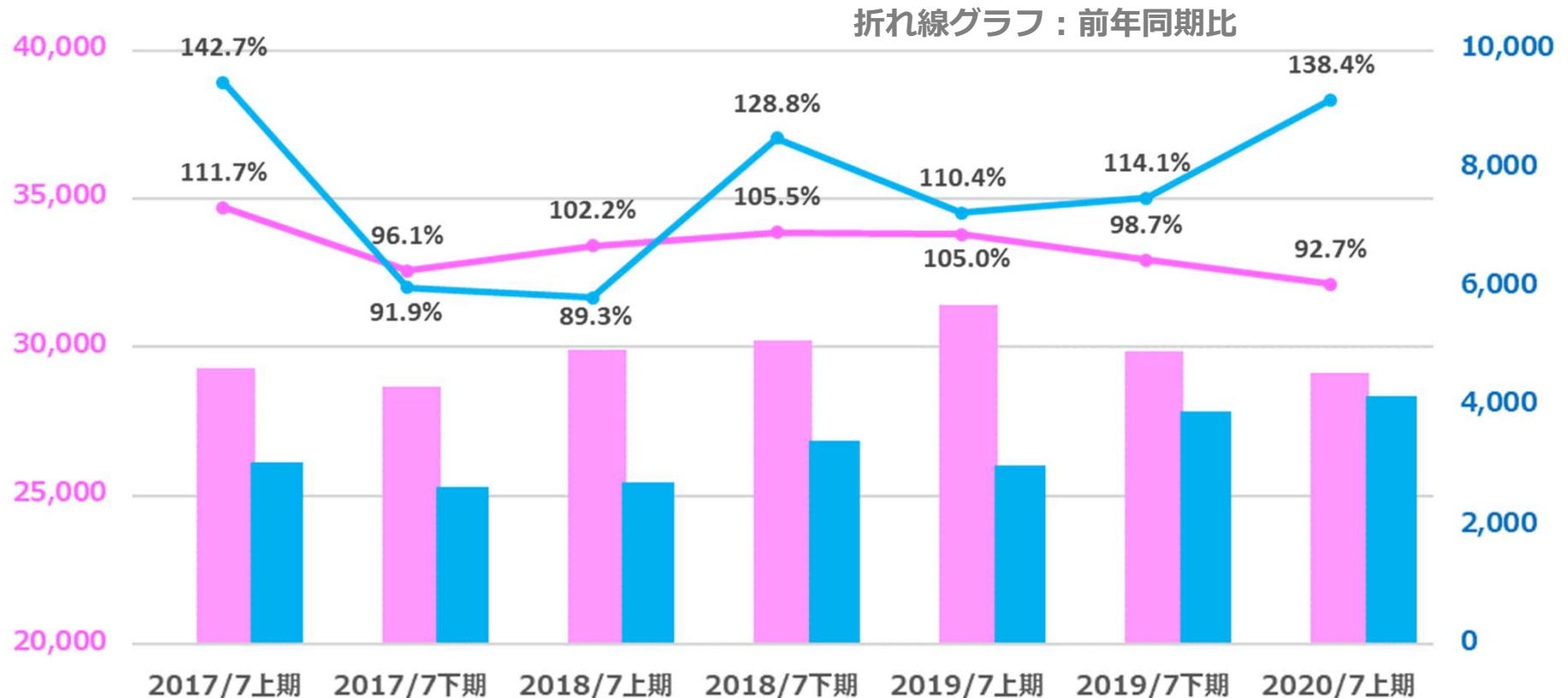
2019年実績

主な競合先

- ・谷沢菓機工業(非上場)
チョコレート製造機械、餅・和菓子製造機械、
米菓機械

業界動向と当社販売推移(包装機)

単位：百万円



製袋充てん機 生産額	29,289	28,685	29,945	30,250	31,444	29,848	29,159
当社包装機械 売上高	3,060	2,663	2,734	3,430	3,017	3,912	4,175

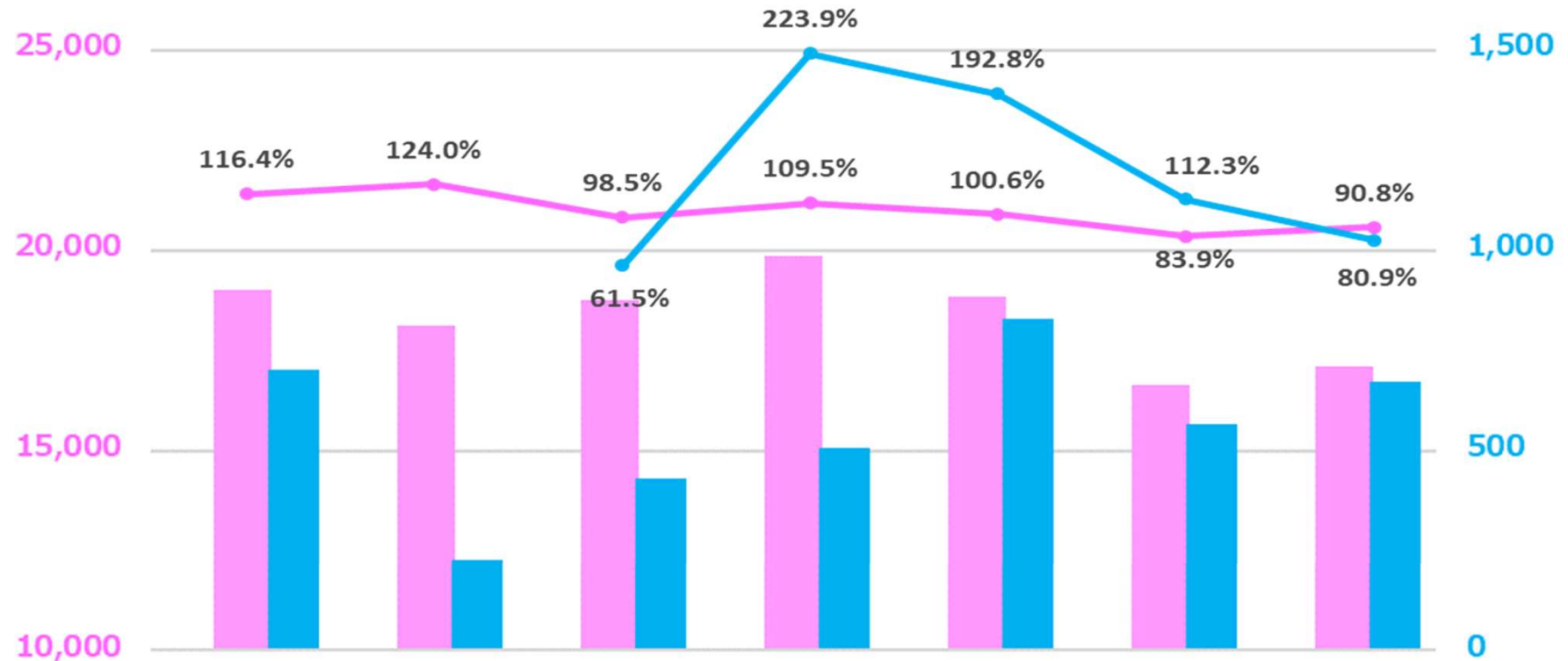
■ 製袋充てん機生産額 ■ 当社包装機械売上高

経産省「生産動態統計」より抽出

※期間は当社決算期にて合わせて算出しております。

業界動向と当社販売推移(生産機)

折れ線グラフ：前年同期比 単位：百万円



2017/7上期 2017/7下期 2018/7上期 2018/7下期 2019/7上期 2019/7下期 2020/7上期

製パン・製菓 機械生産額	19,028	18,127	18,740	19,846	18,856	16,649	17,119
当社生産機械 売上高	701	226	431	506	831	568	672

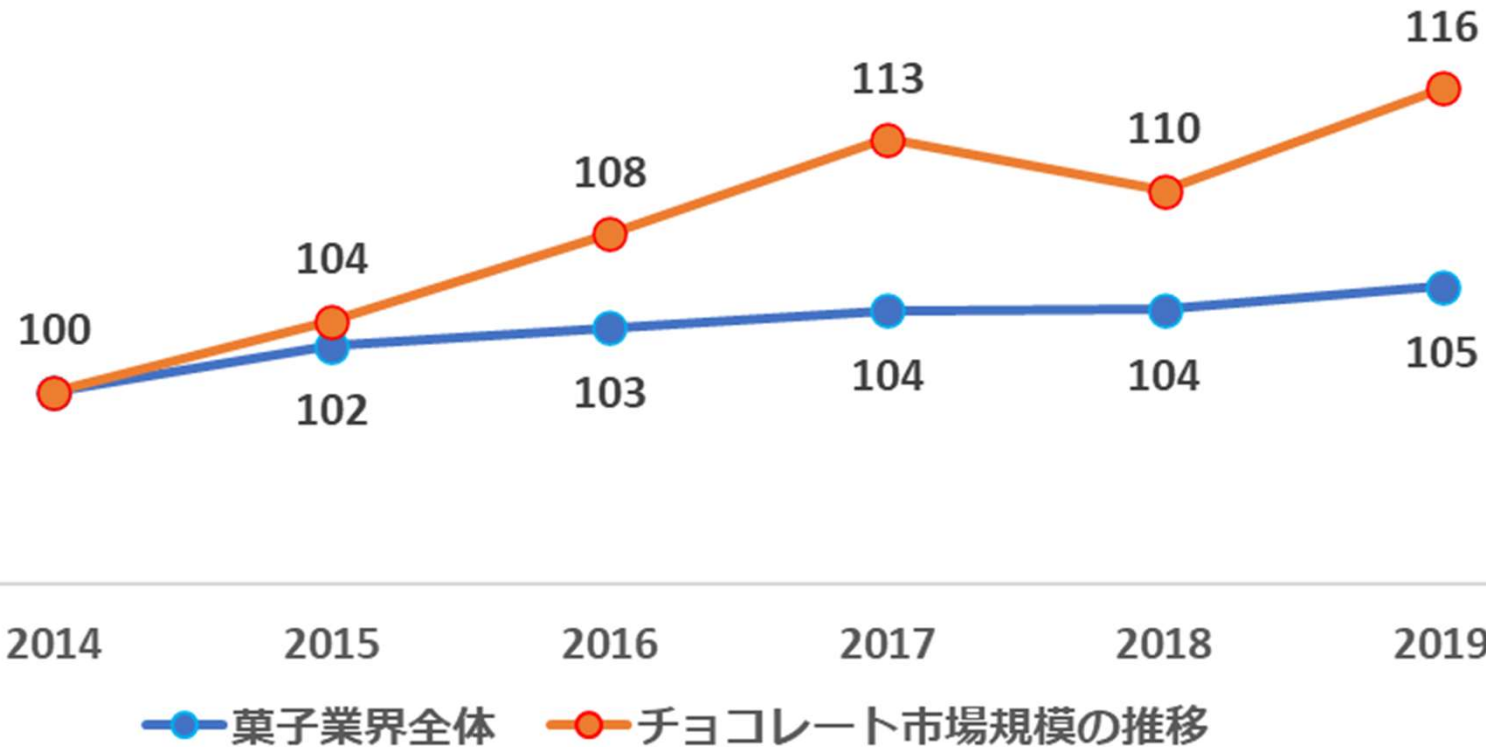
※2017/7期より子会社化 ■ 製パン・製菓機械生産額 ■ 当社生産機械売上高

経産省「生産動態統計」より抽出

※期間は当社決算期にて合わせて算出しております。

菓子類生産水準の推移

菓子類生産水準の推移（小売金額） 2014年 = 100



2019年度生産高 菓子全体 25,215億円 チョコ 3,980億円

全日本菓子協会 菓子統計データより

I. 事業概況と事業環境

II. 決算概況

III. 第5次中期経営計画（総括）

IV. 第6次中期経営計画ならびに

2021年7月期業績見通し

2020年7月期決算概要

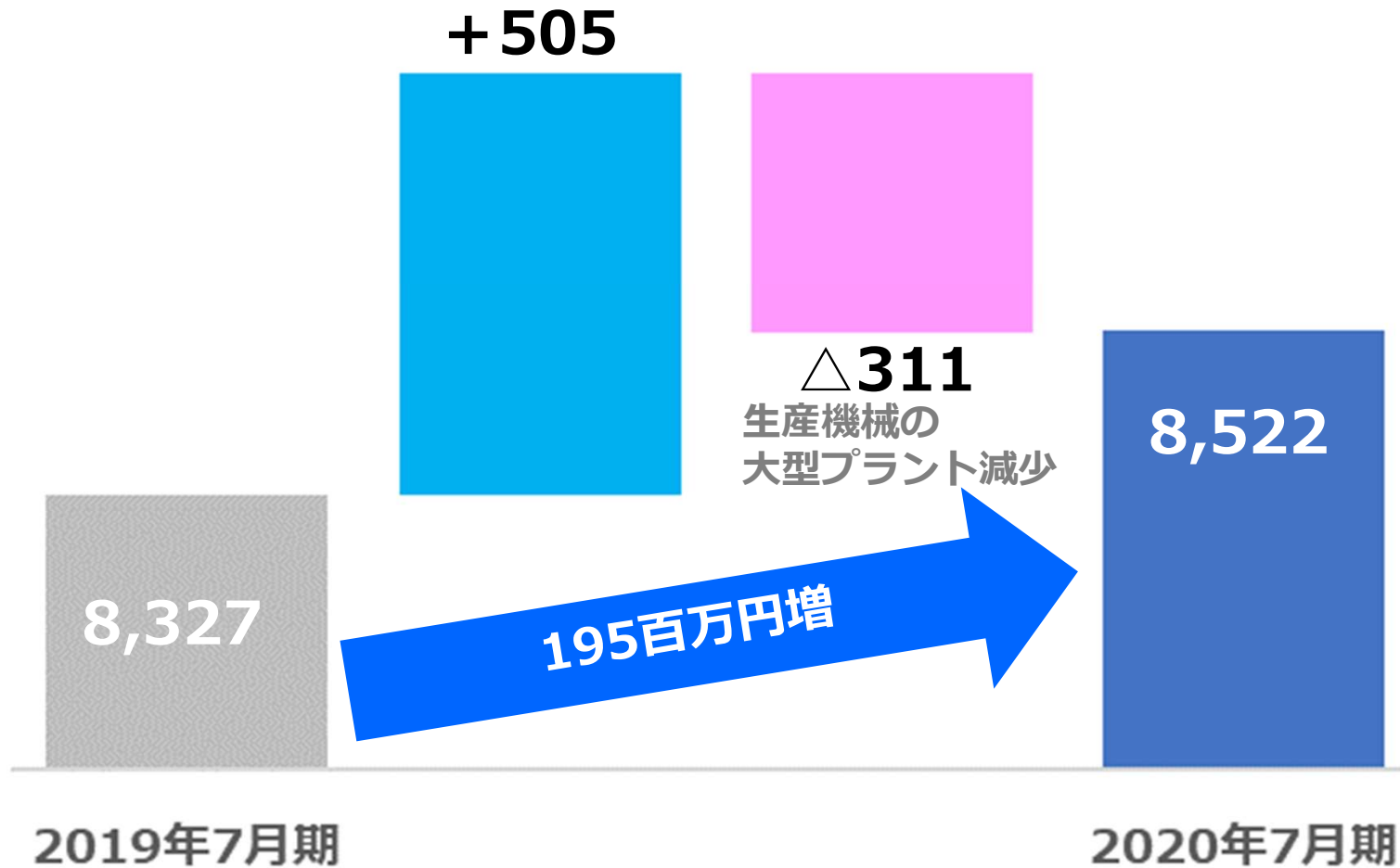
単位：百万円

	2019年7月期		2020年7月期		業績予想 対比	前期 対比	
	実績		業績予想	実績			
売上高	8,327	100%	8,900	8,522	100%	△378	195
売上総利益	2,246	27.0%	—	2,393	28.1%	—	147
営業利益	741	8.9%	700	835	9.8%	135	94
経常利益	745	8.9%	700	839	9.9%	139	94
親会社株主に帰属 する当期純利益	524	6.3%	490	567	6.7%	77	43

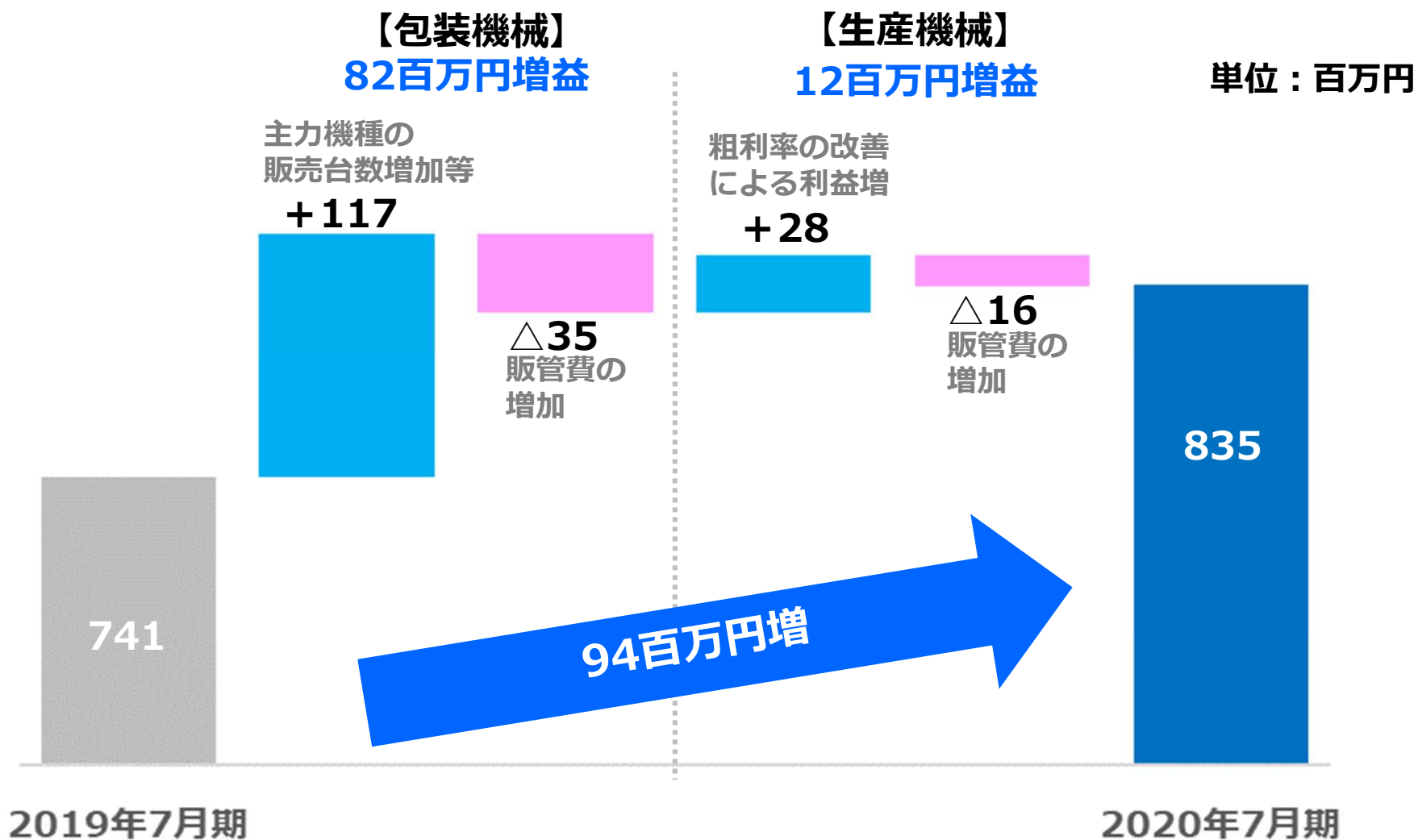
売上高 増減要因

包装機械の主力機種の
販売台数、大型案件の増加等

単位：百万円

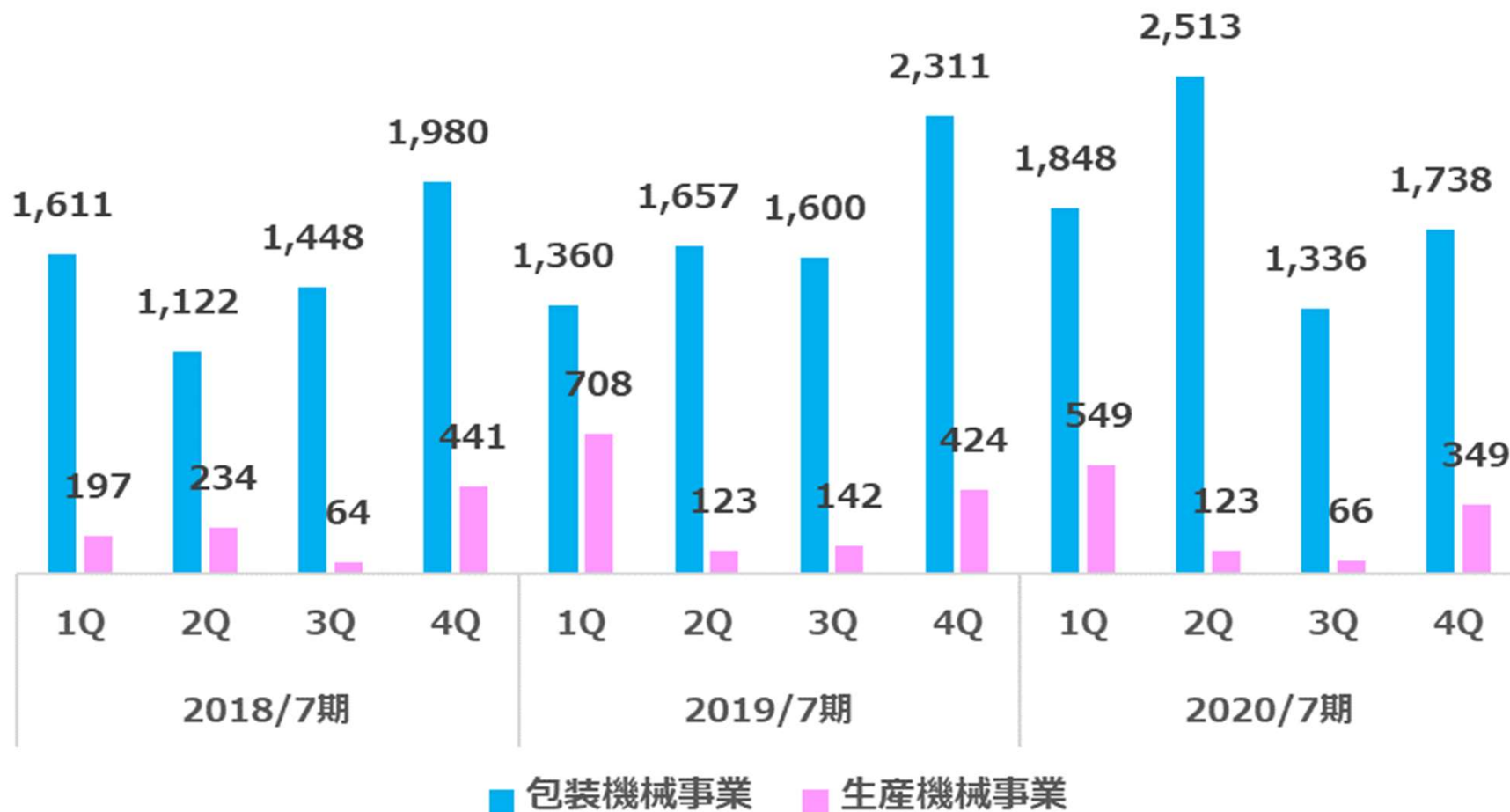


営業利益 増減要因



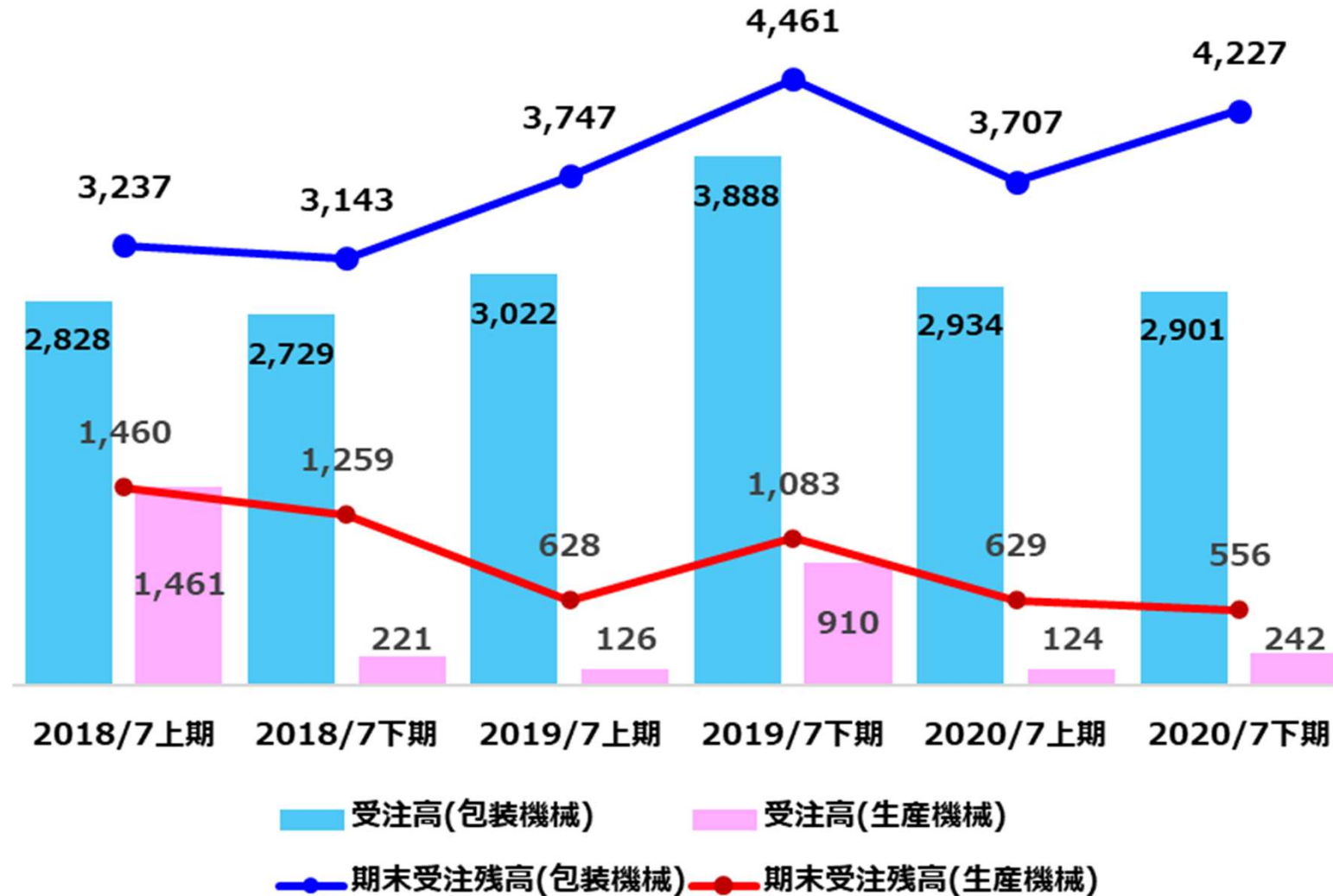
【セグメント別】 四半期売上推移

単位：百万円

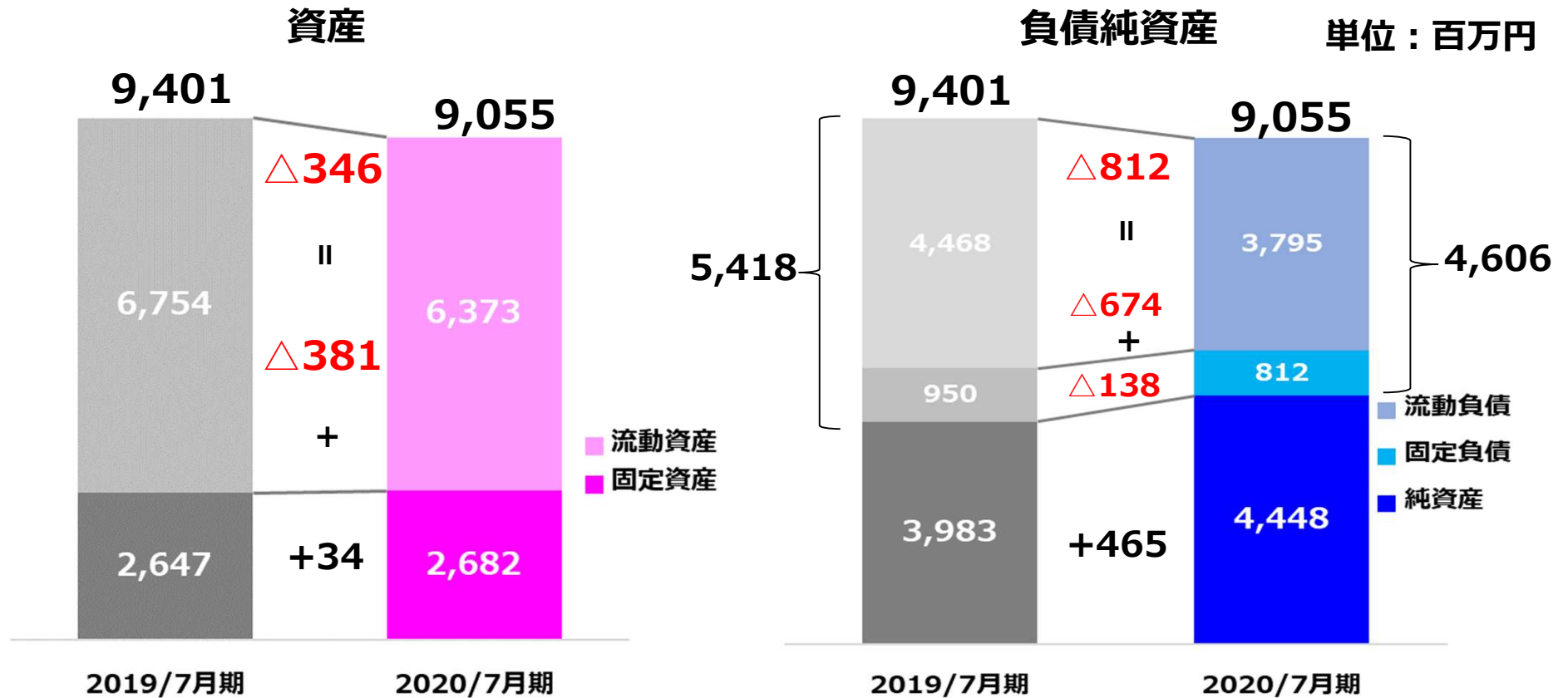


【セグメント別】機械受注動向

単位：百万円



B/S概況



自己資本比率

42.4%

+6.7%

→

49.1%

I. 事業概況と事業環境

II. 連結決算概況

III. 第5次中期経営計画（総括）

IV. 第6次中期経営計画ならびに

2021年7月期業績見通し

第5次中期経営計画の総括

(2018/7月期～2020/7月期)

- ・ 第5次中期経営計画策定時の計画は全ての項目を達成
- ・ 20/7期の修正目標に対しての売上高のみ未達
- ・ **3期間とも増収・増益で推移し、20/7期は過去最高の業績**

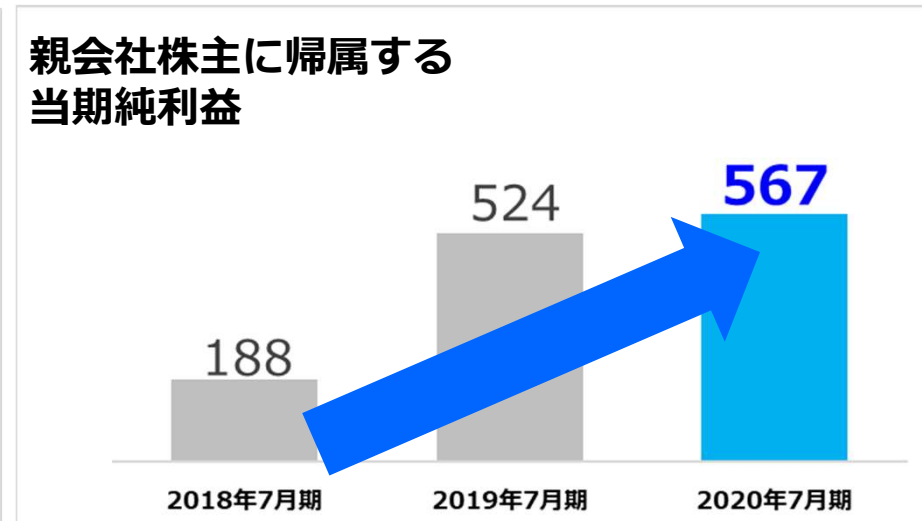
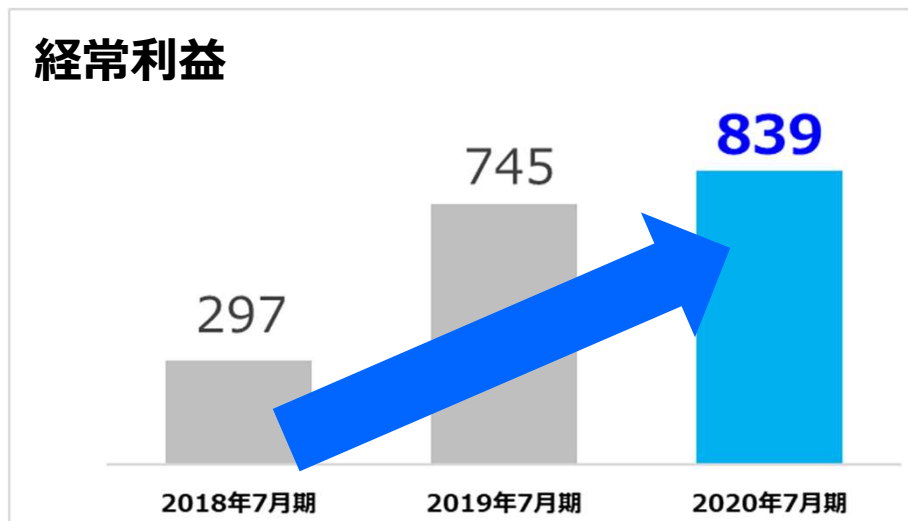
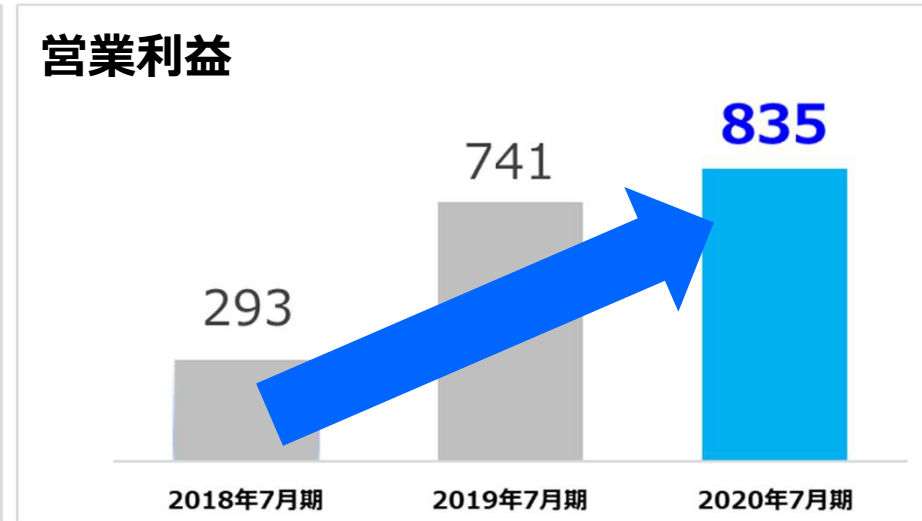
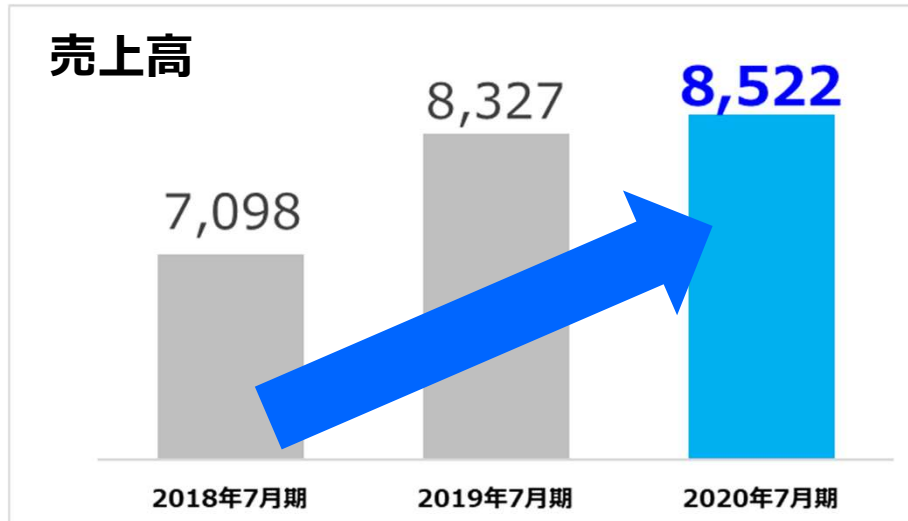
単位：百万円

	計画	実績	計画比
売上高	8,900	8,522	95.7%
経常利益	600	839	139.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	420	567	135.0%
売上高経常利益率	6.0%以上	9.8%	+3.8p
ROA(総資産経常利益率)	6.0%以上	9.1%	+3.1p
ROE(自己資本当期純利益率)	10.0%以上	13.5%	+3.5P

※2019年9月6日発表の修正計画

経営指標の推移

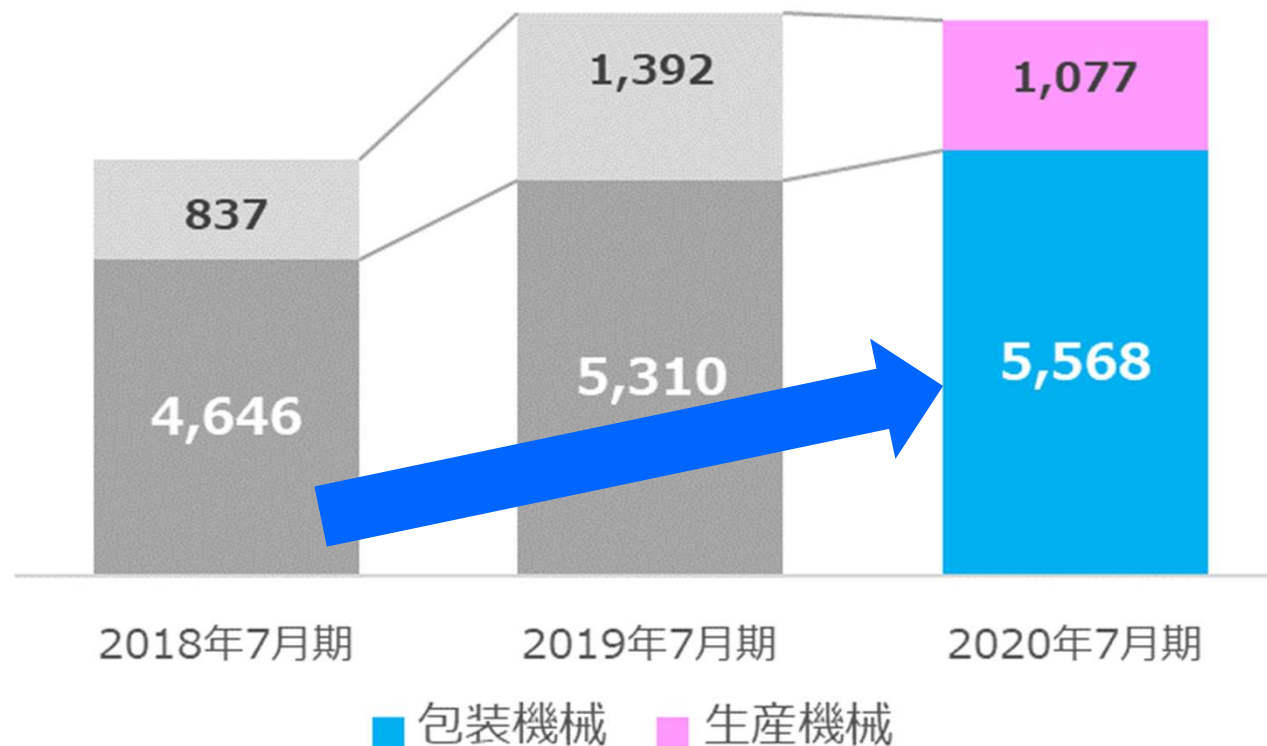
単位：百万円



【販売戦略】 国内市場（安定的な収益と成長の確保）

- ・ 高機能給袋自動包装機（GP-M3000型）が好調に推移
- ・ 大型案件の増加

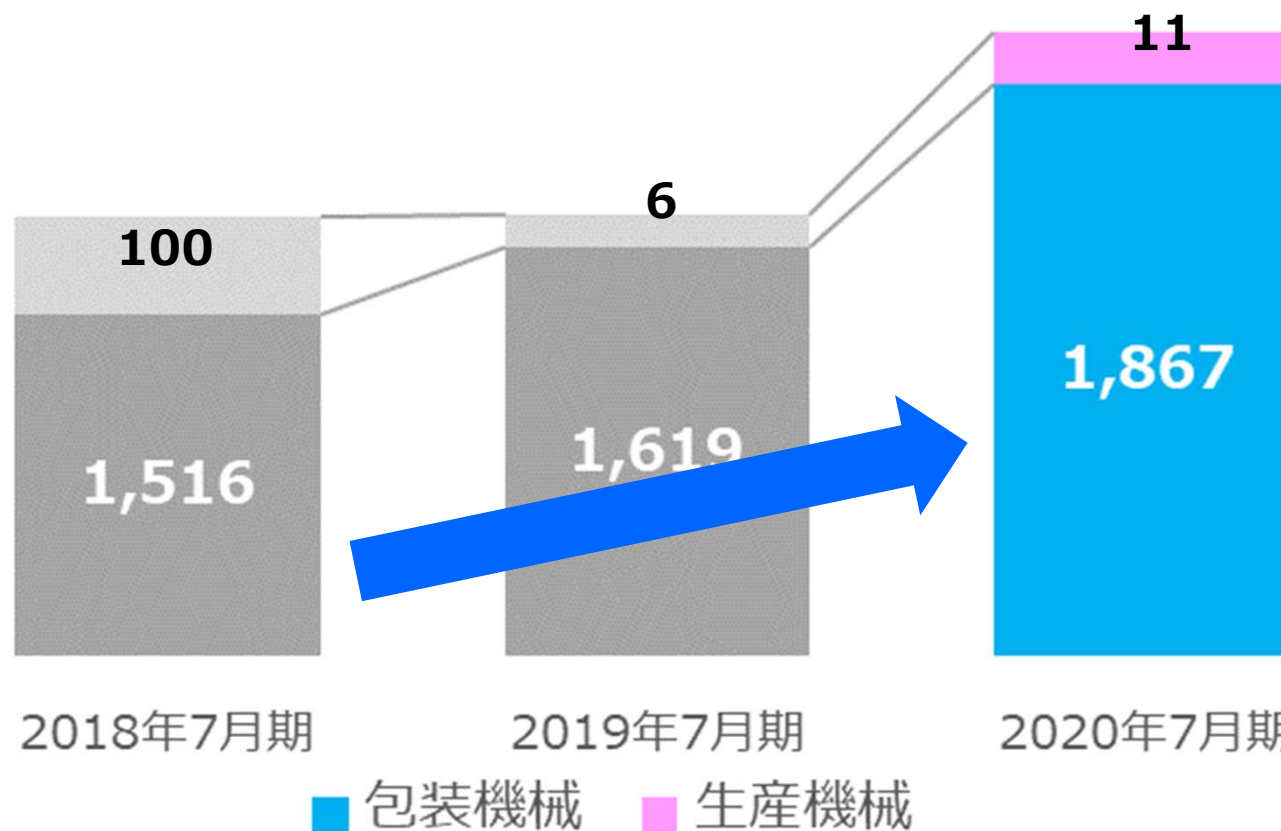
単位：百万円



【販売戦略】 海外事業の拡大

- ・ 中国子会社の売上増
- ・ 新型コロナの影響による売上計上時期のずれ込み

単位：百万円



I. 事業概況と事業環境

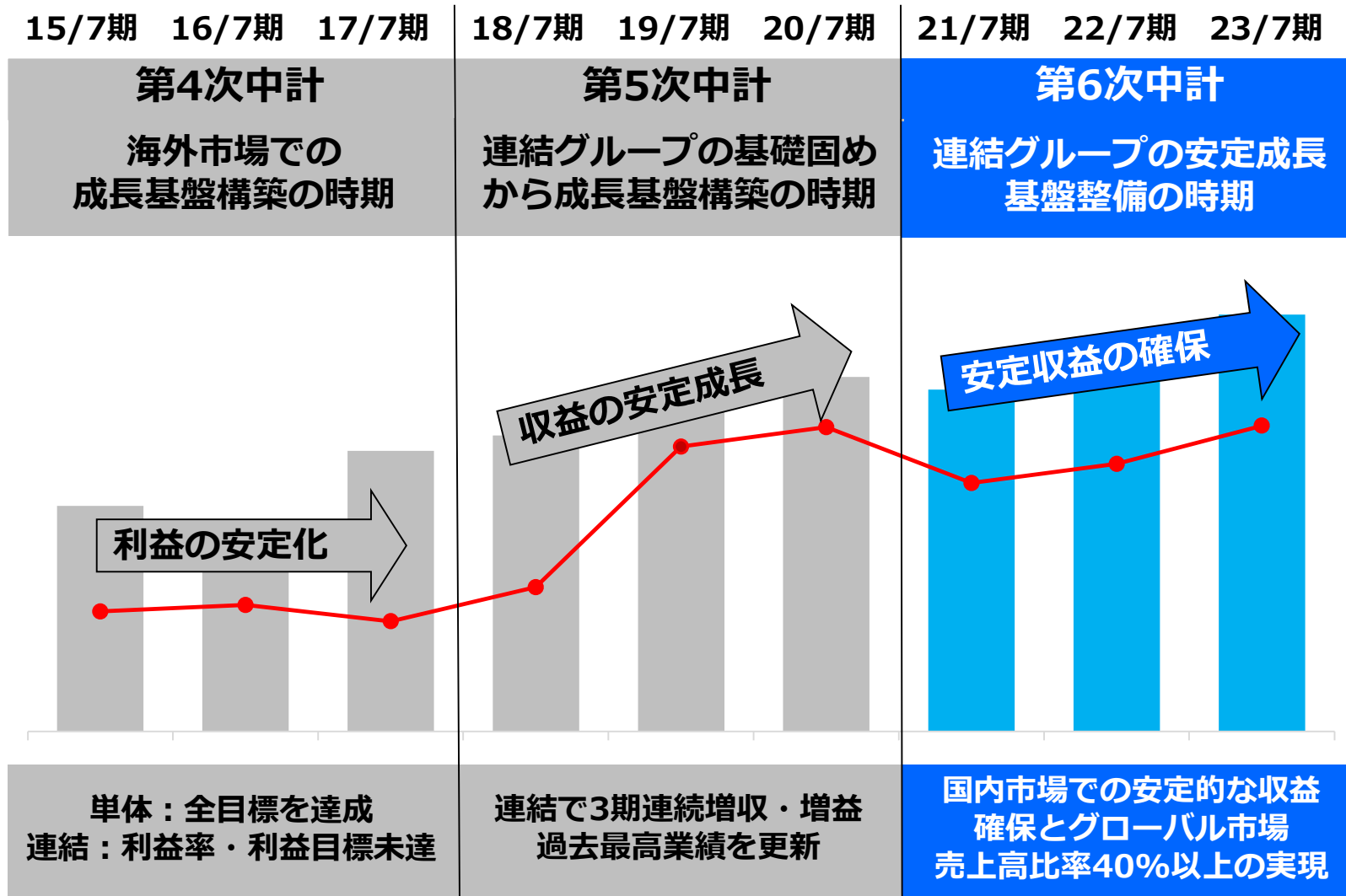
II. 連結決算概況

III. 第5次中期経営計画（総括）

IV. 第6次中期経営計画ならびに

2021年7月期業績見通し

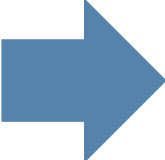
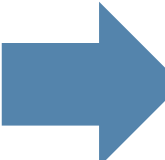
第6次中期経営計画の位置づけ



第6次中期経営計画

◆中期経営ビジョン

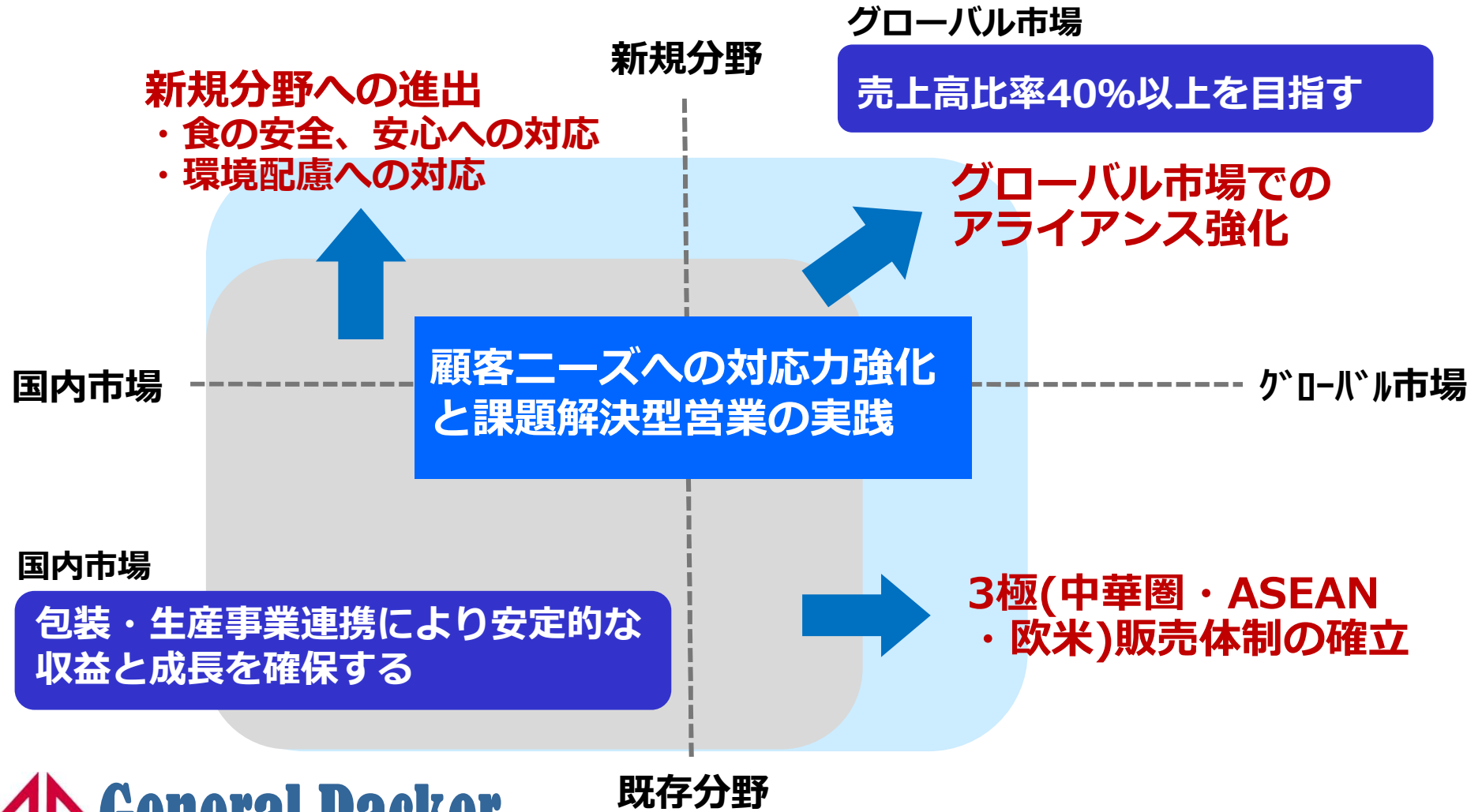
- 1.グローバル市場で信頼され、支持されるGPグループ
- 2.オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー
- 3.挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

	第5次中計		第6次中計
■ 経営目標	20/7期実績		23/7期目標
売上高経常利益率	9.9%		8.0%以上
ROA(総資産経常利益率)	9.1%		8.0%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	13.5%		9.0%以上
■ 業績目標	20/7期実績		21/7期目標
売上高	8,522百万円		8,200百万円
経常利益	839百万円		650百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	567百万円		455百万円

新型コロナウイルスの影響や収束時期の見通し困難なため、
第1期2021年7月期目標のみの設定。

基本戦略

「さらなる躍進に向けグローバル展開の拡大を目指す」



主な経営施策

販売戦略

- ①海外3極（中華圏・ASEAN・欧米）での販売体制の確立
- ②メカトロハイスペック包装機の拡販と新分野への進出
- ③顧客ニーズへの対応力強化と課題解決型営業の実践
- ④包装機械と生産機械の協働によるグループ対応力の向上

開発・技術戦略

- ①省力化機械の将来像を考えた企画・開発力の向上
- ②顧客ニーズに即したメカトロハイスペック包装機のさらなる進化
- ③オープンイノベーションの活用

生産・資材戦略

- ①顧客満足度向上に向けたアフターサービス対応力強化
- ②標準化と人材育成による生産力の強化
- ③品質管理体制の強化

マネジメント戦略

- ①グループ経営管理体制の強化
- ②経営基盤（人材確保・育成、インフラ整備）の強化
- ③働き方改革の推進と人事労務政策の充実

IT戦略

- ①働き方改革に向けたITインフラ整備
- ②IT・デジタル化を活用した業務効率化の推進、生産性向上
- ③顧客満足度を高め、ニーズに即したITソリューション技術の確立

2021年7月期 業績予想

単位：百万円

	2020年7月期		2021年7月期		前期比
売上高	8,522	100%	8,200	100%	96.2%
売上総利益	2,393	28.1%	2,267	27.6%	94.7%
営業利益	835	9.8%	646	7.9%	77.3%
経常利益	839	9.9%	650	7.9%	77.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	567	6.7%	455	5.5%	80.2%

株主還元

【配当政策】

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2018/7期	2019/7期	2020/7期	2021/7期
中間配当	20.00円	25.00円	25.00円	25.00円
期末配当	24.00円	30.00円	35.00円	30.00円
年間配当	44.00円	55.00円	60.00円	55.00円
当期純利益/株	146.9円	296.8円	321.3円	257.5円
配当性向	30.0%	18.5%	18.7%	21.4%
DOE	2.2%	2.6%	2.5%	2.1%

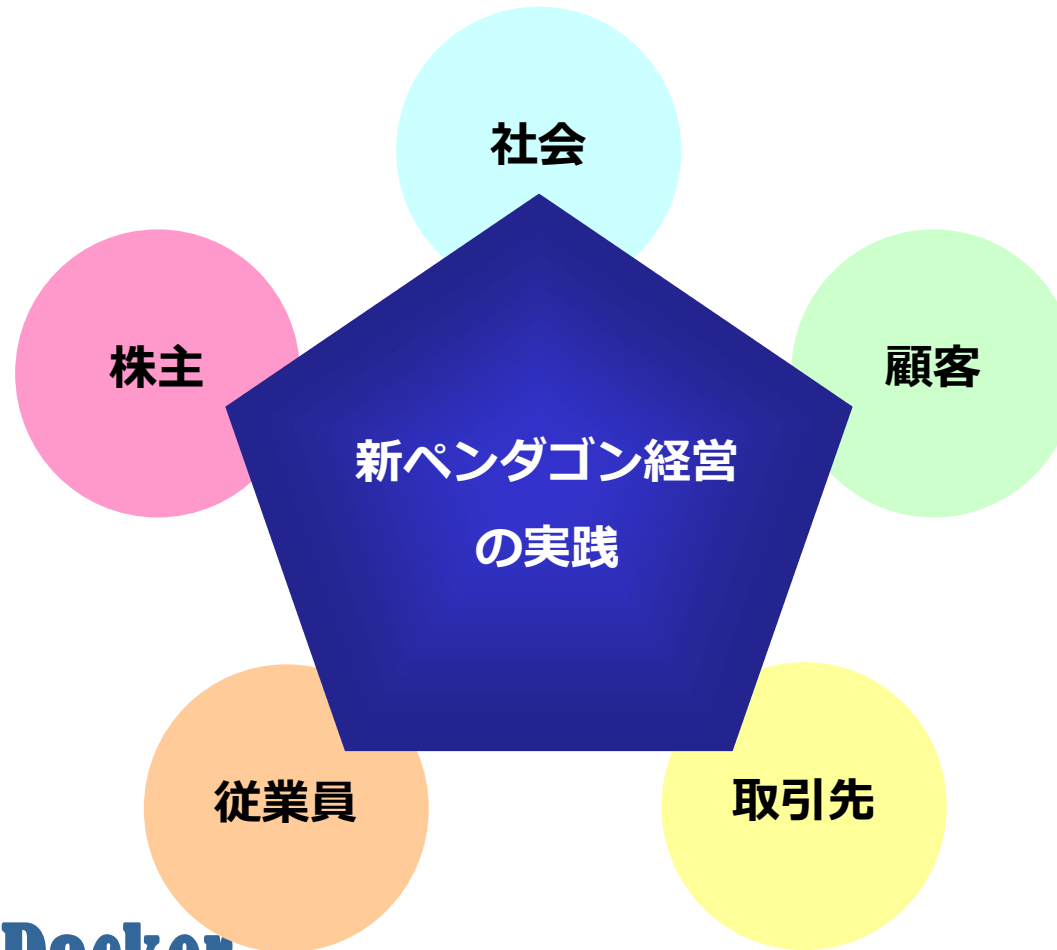
參考資料

会社概要(2020年7月31日現在)

商号	ゼネラルパッカー株式会社 (英文社名：GENERAL PACKER CO.,LTD.)
設立	1966年2月（創業1961年12月）
資本金	251百万円
事業内容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、 食品製菓機械の製造・販売
従業員数	単体：158名　　連結：191名
本社・工場	愛知県北名古屋市宇福寺神明65
東京営業部	東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8KDX神田北口ビル4F
子会社	オサ機械株式会社／蘇州日技通用包装機械有限公司
上場市場	東証JASDAQ・名証二部（コード：6267）
役員	取締役5名　社外取締役（監査等委員）4名
決算期	7月末

企業ビジョン

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支持される企業」の実現



包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【I R 窓口】

経営企画室

〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話：0568-23-3111 FAX：0568-22-3222

E-mail：info@general-packer.co.jp